

顕在！！バレー王国大宮

3月10日、新しくなった「日南町民体育館」で日南町体育協会排球部主催のソフトバレーボール大会が開催された。老若男女のバレーボール好きが集合し、地域対抗で競技が行われた。

大宮チームは、若手中心の「大宮Aチーム」とちょっと年をとった「大宮Bチーム」の2チームをエントリーした。チームワークの良さはもちろん、優れた技術力で他チームを圧倒し、「大宮Aチーム」は優勝、「大宮Bチーム」は2位グループで優勝した。まだまだバレー王国大宮は顕在だ。



「ありがとうございました」

印賀駐在所、門脇さん転勤で米子署に！！

印賀駐在所勤務の門脇さんが、このたびの人事異動で米子署の方に変えられることとなりました。1年間ではありましたが、大宮地区の安心安全のためにご尽力いただきました。

「大宮の方々にお世話になり、とても過ごしやすく、仕事も充実したものになりました。1年間と短い間でしたが、大変お世話になりました。ありがとうございました。」とのお言葉をいただきました。

米子署でのご活躍をお祈りいたします。

後任者は遠澤さんです。詳細につきましては次号でお伝えします。



「ふるさとだより「おおみや」」について

30年度は6回発行する予定でしたが、5回となってしまいました。来年度は奇数月に計6回発行する予定です。ふるさとの様子をお伝えする便りです。お子さんに是非届けてもらいたい、あるいは、知り合いの方々に送ってほしいと思われる方は、大宮地域振興センターへご連絡いただければ対応いたします。また、掲載してほしい内容等ありましたら、ご連絡ください。

〈お問合せ〉

大宮地域振興センター

〒689-5531
鳥取県日野郡日南町印賀 1516
TEL・FAX (0859)87-0911

Mail: skn0400@town.nichinan.tottori.jp
satoyamaoomiya@sea.chukai.ne.jp
blog: http://blog.zige.jp/satoyamaoomiya/
“じげプロ”よりお入りください

編集・発行: 大宮まちづくり協議会 総務部



【編集デスク】

◆本年度は、台風や大雨にたたられ、イベントを中止しなければならなかった。特に、里山まつりと菅沢ダム50周年記念式典の中止は大宮にとっては痛手だった。次年度にこの2つのイベントは持ち越した。◆視察研修で感じたことは、「出来ることをやってみる」であった。1つでも、活性化に結びつく活動を実践したい。ご意見・ご提案・ご協力を！！

(青)



大宮地域では2月中旬から咲き始めるマンサクの花。その中でも、町道印賀・生山線沿いで見られるマンサクは、環境庁の準絶滅危惧種に指定されている「アテツマンサク」である。「古民家かつみや」さんの上手にも植えてある。

まちづくり塾「ぎばんで」先進地視察研修へ

平成30年度の
活動を終えて

会長・部長から一言

【田辺次良会長】

本年度は、災害が多かった。9月30日の台風24号は大雨をもたらし、日南町全域に避難指示が発令された。各自治会では自主避難所が設置され、高齢者を中心にした要支援者の避難を行った。こうした、取り組みを充実させ、「安心安全なまちづくり」を進めたい。

【青戸晶彦総務部長】

本年度は、天候の関係で里山まつりの中止等予定していた行事が思うようにできなかった。鳥取大学との連携を中心にして、「まちづくり塾『ぎばんで』」の充実と活性化に結び付くことを1つでも実施したい。

【藤原恵司産業振興部長】

大阪にある(株)象印マホービンの社員の方々と交流をしている。新入社員の研修も含めた農業体験で、春には田植え、秋には稲刈りを大宮の田んぼで賑やかにしている。素足で田植えをし、田車も押している。一緒にどうぞ・・・。

2月23日、総務部主催のまちづくりの先進地視察研修会を行った。本年度は鳥取市鹿野町にある「NPO法人『いんしゅう鹿野まちづくり協議会』」に18名で出かけた。

鳥取市に近いのだが、空き家は非常に多く、空き家対策を手掛けられていた。また、私たちと同じで大学連携を行っておられ、鳥取大学や青山学院大学と連携し、まちづくりのノウハウを若い学生らとともに生み出しておられた。

その1つに、十数軒の集落にある遊休農地に果物を栽培しようというプロジェクトを立ち上げ、イチジク栽培を手掛けられた実践例を聞いた。作付け等は、町内はもとより町外からのボランティアを引き込んだり、高齢者のみなさんでジャムづくりを行ったりして、換金に結び付けておられた。



リーダーの小林さんのお話が参考になった。次のことである。

- ① 必要とされること・やりたいことを実践する。
- ② この地域のためになり、次につながることを実践する。
- ③ 行政ではできないことを実践する。
- ④ 不得意分野でも一緒に実践する。
- ⑤ 多様性を受け入れる風通しの良いまちにする。(移住者の受け入れ等)
- ⑥ 継続できる仕組みづくりを構築する。
- ⑦ 地域の人々が主役、支援しあう関係づくりを構築する。
- ⑧ できないことは委ねる、連携する。

先進地視察から参考になるものがあつた。大宮まちづくり協議会も実践あるのみだと感じた。地域のためになる、出来そうなことをやってみようと思った。



【上田稔環境福祉部長】

本年度も環境美化作業を中心にした取り組みを行った。特に、6月の作業は多数の方々に参加していただき、大宮まち協の財源を確保する印賀土手草刈り作業や秋原峠、聖滝等の環境整備を行った。また、福祉活動では、暮しておられる方々との支え愛活動や災害時の支え愛地域づくりに取り組んだ。ふれあいのあるあたたかなまちづくりを考えたい。

【三上長次防災部長】

本年度は台風24号による大雨のため、各自治会で自主避難所を開設し、対応に追われた。その後、避難指示が発令され、災害時要支援者の人たちへの声掛けを行い、自主避難所への誘導と支援にあたった。この経験を生かし、災害に強いまちづくりを考えたい。

【遠藤典子学習部長】

本年度も各種講座を開設し、住民のみなさんに喜んで参加してもらった。7月に「行燈づくり教室」を、12月に「寄せ植え教室」を開催した。スポーツ面では、11月にノルディックウォーク大会、大宮地域運動会、そして、町の各種スポーツ大会に積極的に参加した。文化面、運動面ともに、住民のみなさんの役に立つ学習活動を考えたい。